

(9) 最終需要による生産誘発

県内生産額 8 兆 7,141 億円のうち 50.6%が移輸出によって、20.0%が民間消費支出によって誘発されている。

産業連関表では、各産業の生産活動はすべての最終需要をまかなうために行われているという前提により作成されている。

平成 12 年の県内生産額 8 兆 7,141 億円は、7 兆 9,236 億円の最終需要をまかなうために直接・間接に必要な生産額の合計である。

この生産額が、どの最終需要項目によって誘発されたかについてその割合(生産誘発依存度)をみると 50.6%が県外需要である移輸出によって、20.0%が民間消費支出によって、17.0%が県内総固定資本形成によってなどとなっている。

平成 7 年と比べると、移輸出で 0.3 ポイント(50.3% 50.6%)、一般政府消費支出で 2 ポイント(8.6% 10.6%)上昇しているが、民間消費支出で 0.7 ポイント(20.7% 20.0%)、総固定資本形成で 1.1 ポイント(18.1% 17.0%)低下している。

また、1 単位の最終需要によってどの程度の県内生産が誘発されたか(生産誘発係数)を最終需要の項目別にみると、移輸出が 1.34 で最も高く、次いで一般政府消費支出(1.06)、総固定資本形成(1.00)となっている。

生産誘発額

産業連関表でいう県内生産額は、最終需要を賄うために直接・間接に必要な生産額の合計である。

例えば、最終需要として自動車の需要があった場合、自動車産業が自動車を生産するほか、自動車を生産するために鋼板、ガラス、タイヤ等の生産が必要となる。更にこれらの鋼板等を生産するために鉄鉄・粗鋼等の生産が必要となるというように次々と生産が波及していく。

生産誘発依存度

各産業の生産額が、どの最終需要項目によってどれだけ誘発されたものであるか、そのウェイトを示すもの。

(生産誘発依存度 = 各産業の最終需要項目別生産誘発額 ÷ 各産業の県内生産額合計)

生産誘発係数

ある最終需要部門で 1 単位の最終需要があった場合、どの産業の県内生産額がどれくらい増えるかを示すもの。

(生産誘発係数 = 最終需要項目別生産誘発額 ÷ 項目別最終需要額合計)

表1 最終需要項目別生産誘発額・生産誘発依存度・生産誘発係数 (単位:100万円)

	生産誘発額		生産誘発依存度		生産誘発係数	
	平成7年	平成12年	平成7年	平成12年	平成7年	平成12年
家計外消費支出	187,514	157,820	0.021397	0.018111	1.025189	0.873885
民間消費支出	1,815,377	1,743,810	0.207152	0.200113	0.950165	0.828242
一般政府消費支出	751,057	924,203	0.085703	0.106058	1.173437	1.058551
総固定資本形成	1,583,412	1,479,417	0.180683	0.169772	1.092525	1.002164
在庫純増	13,994	-1,490	0.001597	-0.000171	0.581467	0.186855
移輸出	4,412,134	4,410,379	0.503468	0.506118	1.393326	1.338013
最終需要計	8,763,488	8,714,139	1.000000	1.000000	1.188504	1.099773

図1 最終需要項目別生産誘発依存度

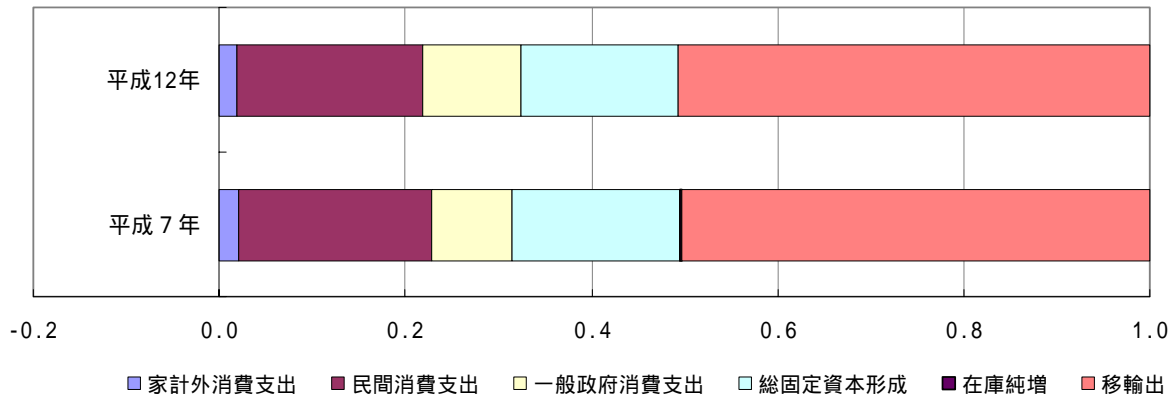


図2 最終需要項目別生産誘発係数

